

「天からの7つの宣言(1)」

黙14:1~8

1. はじめに

(1) キリストの再臨の前に何が起こるかを見ている。

①10章~14章は、挿入箇所である。

②10章~13章では、大患難時代の中間に起こる数々の出来事が取り扱われた。

③15章~16章では、大患難時代後半の3年半に起こる出来事が取り上げられる。

④14章は、10章~13章と15章~16章の「つなぎ役」を果たしている。

*14章の内容は、7つの宣言として出て来る。

*未来完了形の宣言である。

(2) 14章の内容とそれが啓示された目的

①偽の三位一体の目的は、必ず失敗することを示すため。

*イスラエル民族を抹殺しようとする試みは、失敗に終わる。

②「鉢の裁き」(15~16章)の結果がどのようなものであるかを示すため。

③大患難時代の後半を生きる聖徒たちに、励ましを与えるため。

2. アウトライン

(1) 第一の宣言：シオンの山の上の144,000人(1~5節)

(2) 第二の宣言：永遠の福音(6~7節)

(3) 第三の宣言：バビロンの崩壊(8節)

(4) 第四の宣言：獣を拝む者たち(9~11節)

(5) 第五の宣言：聖徒たち(12~13節)

(6) 第六の宣言：刈り取り(14~16節)

(7) 第七の宣言：神の激しい怒り(17~20節)

3. 結論

(1) シオンの山

(2) 小羊に従う人

(3) 口に偽りのない人

黙示録14章の7つの宣言について学ぶ。

I. 第一の宣言：シオンの山の上の144,000人(1~5節)

1. 1節

Rev 14:1 また私は見た。見よ。小羊がシオンの山の上に立っていた。また小羊とともに十四万四千人の人たちがいて、その額には小羊の名と、小羊の父の名とがしるしてあった。

(1) ヨハネは、キリストの再臨後の状況を見ている。

- ①実際にキリストの再臨が起こるのは、19章になってからである。
- ②この幻は、キリストの再臨後に成就する千年王国の先取りである。
- ③将来起こる事を、今起こっていることと見なすのは、ヘブル的手法である。
*これは、神の約束は必ず成就するという事を保証するためである。

(2) 小羊と144,000人のユダヤ人たちがシオンの山の上に立っていた。

- ①小羊とは、神の小羊イエスのことである。
- ②144,000人とは、全世界に福音を伝えたユダヤ人たちである。
- ③シオンの山とは、文字通り、地上のエルサレムにある山である。
*神殿が建設された丘をシオンの山と呼ぶ。
- ④144,000人の額にある「しるし」は、彼らを迫害から守るためのものであった。
*黙7:3~4では、「印」と呼ばれていた。
*ここでは、「小羊の名と、小羊の父の名」と、より詳細に啓示されている。
*彼らは、大患難時代の終わりの時点でも生きている。
*キリストの再臨後、そのまま千年王国に入るように招かれる。
*偽の三位一体の試みは失敗に終わる。

2. 2~3節

Rev 14:2 私は天からの声を聞いた。大水の音のようで、また、激しい雷鳴のようであった。また、私の聞いたその声は、立琴をひく人々が立琴をかき鳴らしている音のようでもあった。

Rev 14:3 彼らは、御座の前と、四つの生き物および長老たちの前とで、新しい歌を歌った。しかし地上から贖われた十四万四千人のほかには、だれもこの歌を学ぶことができなかった。

(1) 「私は天からの声を聞いた」

- ①声は絵画的に描写されている。
*大水の音のようで、激しい雷鳴のようであった。
*立琴をかき鳴らしている音のようでもあった。

(2) 御座の前で144,000人が新しい歌を歌った。

- ①彼らは、御座の前と、4つの生き物および長老たちの前とで歌った。
- ②これは、神の恵みと勝利を称える歌である。

(3) 144,000人だけがこの歌を学ぶことができた。

①144,000人は、大患難時代の全期間を通過したので、その歌の意味が分かる。

②144,000人以外にも、大患難時代の終わりに地上に存在する聖徒たちがいる。

3. 4～5節

Rev 14:4 彼らは女によって汚されたことのない人々である。彼らは童貞なのである。彼らは、小羊が行く所には、どこにでもついて行く。彼らは、神および小羊にささげられる初穂として、人々の中から贖われたのである。

Rev 14:5 彼らの口には偽りがなかった。彼らは傷のない者である。

(1) 彼らは、独身で神に仕える人たちである。

①大患難時代は、結婚して子どもを育てる時代ではない。

②彼らは、神への奉仕に集中することができた。

(2) 彼らは、主イエスに忠実に歩んだ人たちである。

①小羊が行く所には、どこにでもついて行った。

(3) 彼らは、初穂である。

①「初穂」とは、それに続く人たちがいるということを示している。

②144,000人は、大患難時代の始まりに救われた。

③イスラエル民族は、大患難時代の最後に救われる。

④大患難時代の途中で救われるユダヤ人たちもいる。

(4) 彼らは、その口に偽りがなかった。

①大患難時代には、偽りの情報が拡散した。

②彼らは、真実だけを宣べ伝えた。

(5) 彼らは、傷のない者であった。

①外側にも内側にも汚れがなかった。

II. 第二の宣言：永遠の福音(6～7節)

1. 6節

Rev 14:6 また私は、もうひとりの御使いが中天を飛ぶのを見た。彼は、地上に住む人々、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音を携えていた。

(1) ここで別の場面が展開する。

- ①第二の宣言の内容は、悔い改めへの招きである。
- ②ヨハネは、もうひとりの天使が中天を飛ぶのを見た。第一の天である。
- ③全世界に住む人たちに直接語りかけるためである。

(2) 天使は、永遠の福音を携えていた。

- ①永遠に変わることはないメッセージ
- ②永遠の結果をもたらすメッセージ
- ③そのメッセージは、福音(グッドニュース)である。
- ④大患難時代に地上に住む人たちが、もう一度福音を聞く機会が与えられる。

2. 7節

Rev 14:7 彼は大声で言った。「神を恐れ、神をあがめよ。神のさばきの時が来たからである。天と地と海と水の源を創造した方を拝め。」

(1) 天使の宣言の内容

- ①神の最後の裁きがすぐにでも下ろうとしている。
- ②それゆえ、神に立ち返れ。
- ③信仰者のあるべき姿は、神を恐れ、神をあがめることである。
- ④ルカ 12:5

Luk 12:5 恐れなければならない方を、あなたがたに教えてあげましょう。殺したあとで、ゲヘナに投げ込む権威を持っておられる方を恐れなさい。そうです。あなたがたに言います。この方を恐れなさい。

(2) 被造物のあるべき態度

- ①天と地と海と水の源を創造した方を拝むことである。
- ②そのお方は、誰にとっても「天の父」である。

III. 第三の宣言：バビロンの崩壊(8節)

1. 8節

Rev 14:8 また、第二の、別の御使いが続いてやって来て、言った。「大バビロンは倒れた。倒れた。激しい御怒りを引き起こすその不品行のぶどう酒を、すべての国々の民に飲ませた者。」

(1) 第三の宣言は、第二の天使によってもたらされた。

- ①その内容は、バビロン崩壊の預言である。

(2) バビロンは文字通りのバビロンである。

- ①バビロンは、神への冒瀆と不道徳を象徴する町である。
- ②再建されたバビロンは、反キリストが支配する世界の政治的中心地となる。
- ③ここでは、バビロンが擬人法で、誘惑する女として描写されている。
*人々を不品行に導いた張本人である。

- (3) 大バビロン崩壊の預言は、黙示録17～18章のテーマである。
 - ①「倒れた」が繰り返されているのは、それが確実であるという意味である。
 - ②これは、大患難時代を通過するようになる聖徒たちへの励ましである。

結論：

1. シオンの山

- (1) 終末論におけるエルサレムの重要性
- (2) 旧約聖書

①2サム5:7

2Sa 5:7 しかし、ダビデはシオンの要害を攻め取った。これが、ダビデの町である。

②詩48:1～2(コラの子たちの賛歌)

Psa 48:1 【主】は大いなる方。大いにほめたたえられるべき方。／その聖なる山、われらの神の都において。

Psa 48:2 高嶺の麗しさは、全地の喜び。／北の端なるシオンの山は大王の都。

③イザ2:2～3

Isa 2:2 終わりの日に、／【主】の家の山は、山々の頂に堅く立ち、／丘々よりもそびえ立ち、／すべての国々がそこに流れて来る。

Isa 2:3 多くの民が来て言う。／「さあ、【主】の山、ヤコブの神の家に上ろう。／主はご自分の道を、私たちに教えてくださる。／私たちはその小道を歩もう。」／それは、シオンからみおしえが出、／エルサレムから【主】のことばが出るからだ。

④ミカ4:1～2

Mic 4:1 終わりの日に、／【主】の家の山は、山々の頂に堅く立ち、／丘々よりもそびえ立ち、／国々の民はそこに流れて来る。

Mic 4:2 多くの異邦の民が来て言う。／「さあ、【主】の山、ヤコブの神の家に上ろう。／主はご自分の道を、私たちに教えてくださる。／私たちはその小道を歩もう。」／それは、シオンからみおしえが出、／エルサレムから【主】のことばが出るからだ。

④ヨエ2:32

Joe 2:32 しかし、【主】の名を呼ぶ者はみな救われる。／【主】が仰せられたように、／シオンの山、エルサレムに、／のがれる者があるからだ。／その生き残った者のうちに、／【主】

が呼ばれる者がいる。

2. 小羊に従う人

(1) 144,000人は、すべての信仰者にとって模範である。

(2) 聖書研究と実践は、車の両輪である。

(3) 私たちは、妥協なき実践に召されている。

①マタ 16:24

Mat 16:24 それから、イエスは弟子たちに言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。

②ヨハ 10:27

Joh 10:27 わたしの羊はわたしの声を聞き分けます。またわたしは彼らを知っています。そして彼らはわたしについて来ます。

③ヨハ 12:26

Joh 12:26 わたしに仕えるというのなら、その人はわたしについて来なさい。わたしがいる所に、わたしに仕える者もいるべきです。もしわたしに仕えるなら、父はその人に報いてくださいます。

3. 口に偽りのない人

(1) 144,000人の人たちは、口に偽りにない人たちである。

(2) 旧約聖書

①詩 51:6

Psa 51:6 ああ、あなたは心のうちの真実を喜ばれます。／それゆえ、私の心の奥に知恵を教えてください。

②箴 14:25

Pro 14:25 誠実な証人は人のいのちを救い出す。／欺く者はまやかしを吹聴する。

③ゼカ 8:16

Zec 8:16 これがあなたがたのしなければならないことだ。互いに真実を語り、あなたがたの町囲みのうちで、真実と平和のさばきを行え。

(3) 新約聖書

①1 ペテ 3:10~11

1Pe 3:10 「いのちを愛し、／幸いな日々を過ごしたいと思う者は、／舌を押さえて悪を言わず、／くちびるを閉ざして偽りを語らず、

1Pe 3:11 悪から遠ざかって善を行い、／平和を求めてこれを追い求めよ。

②2 テモ 4:2

2Ti 4:2 みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりとやいなさい。寛容を尽

くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。

*真実を伝えることが重要である。「みことばを宣べ伝える」

*「しっかりやりなさい」とは、緊急性をもって、という意味である。

*これは、常識的な判断を排除するものではない。

*マタ7:6

Mat_7:6 聖なるものを犬に与えてはいけません。また豚の前に、真珠を投げてはなりません。それを足で踏みにじり、向き直ってあなたがたを引き裂くでしょうから。